

中学校 社会科の指導におけるICTの活用

県教育庁義務教育課

資料の重ね合わせ；中学校「地理的分野」
「津波からの安心・安全避難マップを作ろう」

複数資料の関連付け;「重ね合わせ」機能の授業への活用

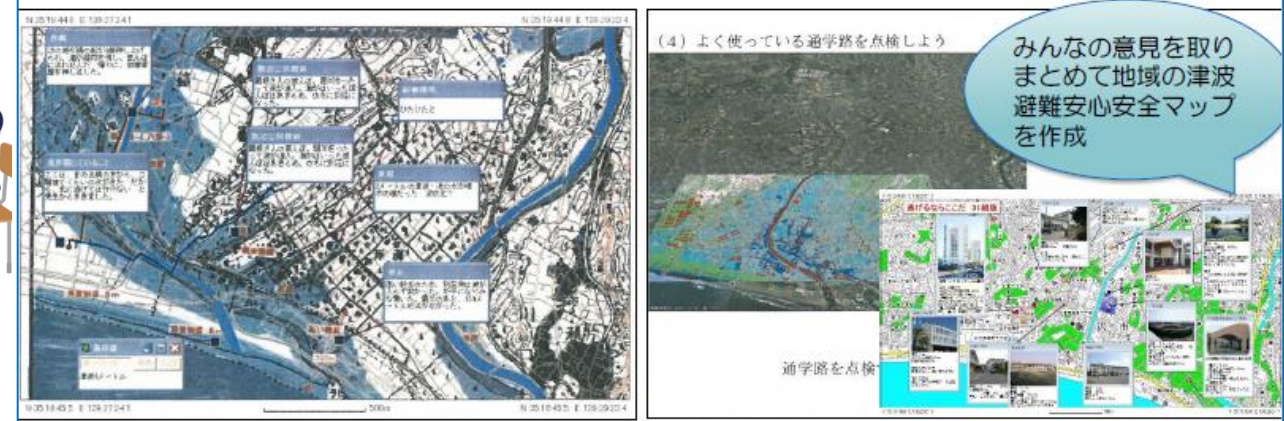
●授業への発展： 自分たちの地域で起こった場合を考える



生徒作成資料の実際：「津波発生！ あなたはどうする？」

●授業例： 自分たちの住む地域に津波がきたら、どうすればよいだろう

1. 古地図とハザードマップを**重ね合わせ**、過去の災害記録を入力
※自分の家、学校、避難所、避難経路を重ね合わせ
→ **自分の家は本当に大丈夫・・・？**
 2. 航空写真と標高メッシュデータを**重ね合わせ**
※GISで標高や距離を確認
※さらに、フィールドワークやGoogle Earthで、標高の高い所、高い建物の位置を確認
→ **一番近い避難場所はどこ？
避難に何分かかる？**

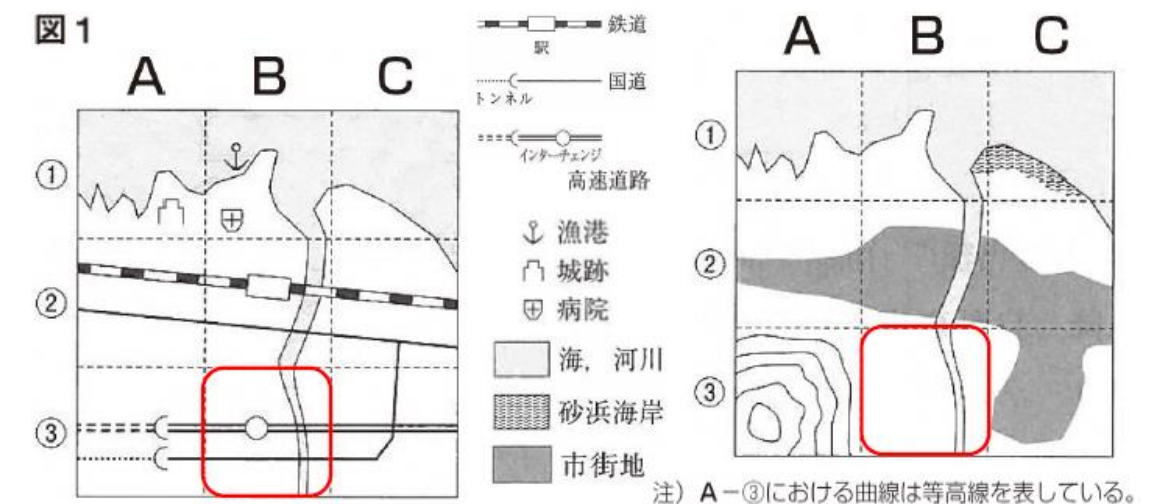


評価試験問題の実際:「自然及び社会的条件を満たすのは？」

自然的条件と社会的条件の重ね合わせによる、工業団地の立地選定

図はある地域を9マス（1マスたて横の長さはそれぞれ4km）で表したものであり、図1は社会資本などを、図2は土地のようすを示している。これらの図の中で、電気機械の工場などの工業団地をつくる際に最も適切な場所はどのマスが書きなさい。

＜書き方の例　駅的位置はB-②＞



～茨城県高等学校入学試験問題(中等教育資料H24.11月号掲載、解説)の事例～

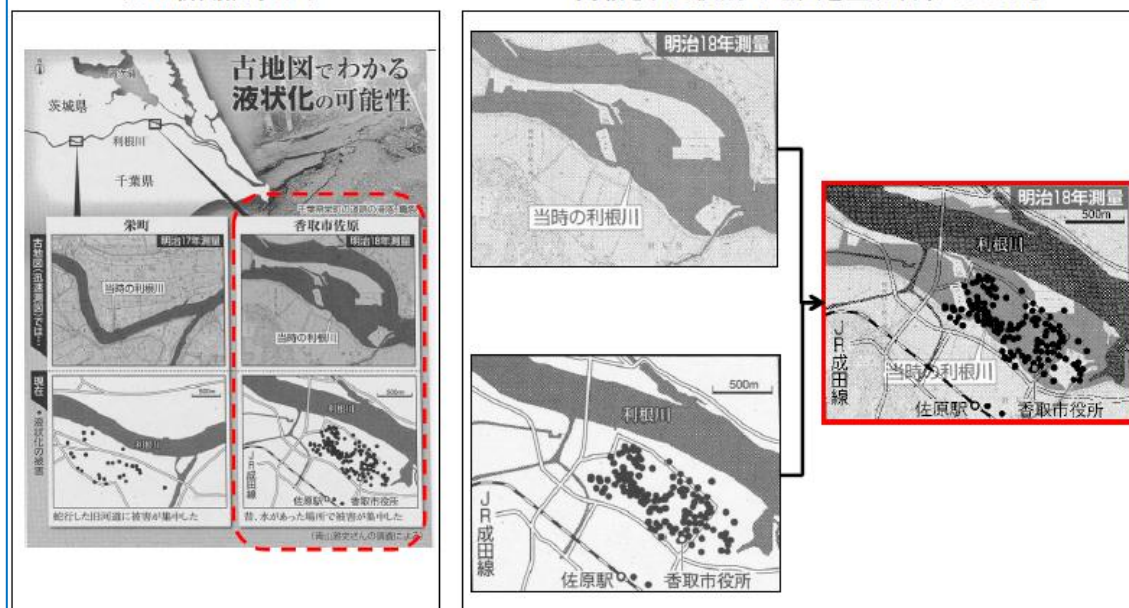
14

教師プレゼン資料の実際：「なぜ、そこで『液状化』？」

●昔の川筋と液状化地点の結び付け（重ね合わせ）

元の記事から

掲載された個別の地図を重ね合わせてみる



ここに掲載した内容は、文部科学省 HP「各教科の指導における ICT の効果的な活用に関する参考資料」から抜粋したものです。詳しくは、下記文部科学省 HP をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html